

II 重点事項（北上市地域福祉活動計画 基本目標）の活動状況

基本目標1 地域福祉を担う人づくり

- 市民福祉大会及び福祉成人祝賀会は、開催に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のためやむを得ず中止しました。
- 敬老会事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、実施形式を選択する形で行いました。なお、飲食を伴う祝賀会については、県内で新型コロナウイルスの感染が確認されたことから全地区で中止としました。
- 福祉協力員は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中での活動となりました。コロナ禍により外出や交流の機会が減少した高齢者等に対して訪問活動等を行い、孤独感の解消やフレイル（運動や認知機能の低下）予防に努めました。
- 企業の地域貢献活動と連携しながら要援護世帯への支援を行い、地域福祉の向上を図りました。

- (1) 地域を支える側、支えられる側どちらの立場でも「お互いさまの気持ち」で地域をつくるという意識を醸成する機会をつくる

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 きたかみ社協だより発行事業 (1) きたかみ社協だより ① 発行回数：8回 (発行月：4月、6～10月、12月、2月 原則第2週金曜日に発行) ② 発行部数：298,433部 (1回 約37,300部)	社協だよりを全世帯に配布し、当協議会事業や福祉に関する情報を広く市民に提供し、意識の啓発を図りました。 また、継続して読まれるよう特集や連載記事を掲載するなど紙面の構成を工夫し作成しました。 今後も、紙面の充実や効果的な情報発信を行います。 【指標】広報発行 年9回
(2) ボランティア通信 ① 発行回数：3回（社協だよりに折込み） ② 発行部数：111,773部 (1回 約37,300部)	ボランティアに関する情報を収集し、「ボランティアみみより情報」として全世帯に配布し、ボランティア活動に関する意識の啓発を図りました。
(3) ホームページの運営、管理 年間アクセス数：12,797回	時機にあった情報提供・発信をするため、「きたかみ社協だより」とあわせ、ホームページを活用し幅広い広報活動を行いました。 また、Facebookページを開設し、本格的な運用は令和3年度からとなりますが、更に効果的・多角的な情報発信を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 社会福祉大会 (1) 第30回北上市民福祉大会 ① 表彰予定者：26名 ・社会福祉事業功労者 4名 ・社会福祉奉仕功労者 17名 ・褒賞（在宅介護者） 3名 ・褒賞（自立更生） 2名 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会を目指し、市民が一堂に会し、福祉向上の更なる努力を誓い合い、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表することを目的として開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 なお、令和3年度に改めて第30回大会として開催し、令和2年度の被表彰者に対する表彰も併せて行います。 【指標】参加者800名
(2) 第73回岩手県社会福祉大会 ① 期 日：2年10月30日（金） ② 会 場：岩手県民会館（大ホール） ③ 表 彰：22名（北上市分） ・岩手県知事表彰 更生援護従業者 2名 ・岩手県知事感謝状 在宅介護 8名 ・岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者 永年勤続功労 10名 民生委員・児童委員 1名 ・岩手県社会福祉大会長褒賞 在宅介護者 1名	県内の社会福祉関係者が一堂に会し、共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指し、関係者が共通理解を深めるとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表しました。 なお、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小しての開催となり、当市関係者の参加も最小としました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 福祉成人祝賀会 ① 期 日：3年1月10日（日） ② 成人者：23名 ※新型コロナウイルス感染症対策により中止	心身に障がいを持つ成人者とその家族を対象に、自立と社会参加の促進、今後の活躍を祈念し式典及び祝賀会を実施しています。 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として式典のみの開催とし、参集者など規模を縮小して実施する予定でしたが、感染拡大があったためやむを得ず中止しました。なお、開催に代え、新成人に対して当協議会長からお祝いのことばと記念品、あわせて北上市長からのメッセージをお送りしました。 参加者の健康と安全に配慮した開催方法等を検討し、より多くの成人者に参加していただけるよう会場の雰囲気づくりに心がけ、人生の節目となる成人をお祝いします。 【指標】出席率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 敬老会事業への支援【市交付金事業】 ① 実施箇所数：55地区 ・記念品配付 43地区 ・開催自粛 12地区 ② 該当者：13,322名	新型コロナウイルス感染症対策として、実施形式や自粛の判断を地域に一任し、選択する形で行いました。通常どおり開催を予定した地区もありましたが、県内で新型コロナウイルスの感染が確認されたことから祝賀会は全地区で中止となりました。 なお、例年同様、北上市の交付金に加え、当協議会からも助成金を交付し、実施を支援しました。 【指標】出席率30%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 地域福祉懇談会 ① 期 間：2年6月22日（月） ② 参加人数：69名 ③ 実施箇所：1カ所（地区別参加人数） ・黒沢尻東 69名 ※希望する地区で実施	地域における福祉課題や福祉全般に関わる情報及び意見交換を行いました。 今年度は開催を希望する地区での実施とし、1支部での実施となりましたが、午前・午後の2回に分けて福祉サービスの現状や公共交通に係る意見交換等が行われました。 今後の福祉活動を推進する上で、参考となる意見等を聞くことができました。 【指標】参加者650名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 あいさつ運動推進事業 ① 黒東地区 実施期間：2年4月6日～5月1日 のぼり旗設置：40カ所（通学路、地区内公民館 主要道路など） ポスター掲示：50枚（行政区掲示板、公民館） チラシ配布：370枚（地区内班回覧） 交流センターだよりへ掲載 ② 黒西地区 実施期間：2年4月8日～4月26日 のぼり旗設置：37カ所（地区内公民館、主要 道路など） ポスター掲示：12枚（行政区掲示板、公民館） チラシ配布：250枚（地区内回覧） 交流センターだよりへ掲載 ③ 二子地区 実施期間：2年5月1日～5月31日 のぼり旗設置：3カ所（交流センター、小学校） ポスター掲示：20枚（自治会掲示板、交流セン ター）	地域のつながりを深めるため、家庭や地域で意識的に“あいさつ”を行う強化月間を設定し、隣近所との助け合い精神を醸成しました。 また、運動を推進するために必要な資機材（のぼり旗、横断幕、チラシ、ポスター）を準備し、取組み地区をはじめ、市民に対する意識啓発を図りました。 実施地区が着実に増加してきており、計画どおり市内全域へ取組みを拡大します。 【指標】取組地区8カ所

事業名、内容及び実績	成果や課題等
チラシ配布：1,100枚（全戸配布） ④ 更木地区 実施期間：2年4月8日～5月7日 のぼり旗設置：8カ所（各行政区、小学校） ポスター掲示：20枚（自治会掲示板、交流センター） チラシ配布：40枚（地区内回覧など） ⑤ 口内地区 実施期間：2年4月6日～5月29日 のぼり旗設置：5カ所（交流センター、主要道路） ポスター掲示：11枚（自治会掲示板、交流センター） チラシ配布：70枚（地区内回覧など） ⑥ 相去地区 実施期間：2年4月6日～5月29日 のぼり旗設置：2カ所（交流センター、主要道路） ポスター掲示：3枚（交流センター、自治会掲示板） チラシ配布：30枚（地区内回覧など） ⑦ 鬼柳地区 実施期間：2年4月8日～4月26日 のぼり旗設置：6カ所（行政区、交流センター） チラシ配布：110枚（地区内回覧など） ⑧ 江釣子地区 実施期間：2年4月6日～5月6日 のぼり旗設置：2カ所（交流センター、通学路） チラシ配布：310枚（地区内回覧など）	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 社協出前講座（講師派遣事業） ① 派遣回数：9回 ・小学校：4回 ・中学校：1回 ・一般：4回 ② 参加人数：延べ570名 ③ メニュー登録数：13（R2北上市出前講座）	地域や学校からの要請に応じ、当協議会事業の概要や福祉・ボランティア活動等の講演を行い、福祉に関する学習や研修の支援を行いました。 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策によりキャップハンディ等の体験メニューは依頼が減少しましたが講話の依頼が増加し、講座を通じて福祉やボランティア活動に対する理解が図られました。 【指標】派遣15カ所、参加人数延400名

- (2) 元気高齢者や退職者などの新たな担い手を視野に入れた地域福祉を担う人材の開拓と企業等とのボランティア活動の連携強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ボランティア講座 (1) ボランティア発見講座【基礎編】 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (2) ボランティア活動応援講座 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	福祉やボランティアに関する知識と感心を深め福祉意識の向上を図り、「支え合い」の心を育むことを目的として、学生及び一般向けの講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 参加者数 中高生40名、一般40名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 福祉協力員活動事業（住民グループ支援事業） 【市委託事業（一部）】 (1) 委員会 ① 期 日：3年3月29日（月） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：11名 ④ 内 容： ・2年度事業報告及び収支決算について ・3年度事業計画及び収支予算について ・3年度総会及び全体研修会について (2) 総会及び全体研修会 ① 期 日：書面決議 ② 参加者：342名 ③ 内 容 ・31年度事業報告及び収支決算について ・2年度事業計画及び収支予算について (3) 役員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (4) 訪問活動 ① 福祉協力員数：341名 ② 活動回数：延べ102,381回 ※詳細はP32参照	新型コロナウイルス感染症が拡大する中での活動ではありましたが、地域福祉活動の推進役として要援護者に対する見守りや訪問活動に加え、福祉サービスの利用や福祉に関する情報提供に努めるとともに、ふれあいデイサービス事業協力者や小地域ネットワーク活動構成メンバーとして、民生委員児童委員及び関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進しました。 また、北上市から受託している救急医療情報キット配布事業は、70歳以上の一人暮らし高齢者の新規対象世帯への配布を継続して行いました。 【指標】 充足率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 ボランティア活動センター事業 (1) 運営委員会の開催 ① 期 日：2年10月5日（月）13名出席 3年3月4日（木）15名出席 (2) ボランティア登録者数：163名（個人）	新型コロナウイルス感染症対策により、各種ボランティア活動に制限がある状況でしたが、ボランティア活動を希望する方の相談に応じ、当協議会で行っているボランティア活動、また、感染症対策を行いながら継続して活動している団体のボランティア活動に関する情報提供を行い、マッチング及び登録の推進を図りました。 【指標】 ボランティア活動実践者個人150名 企業との連携3社

事業名、内容及び実績	成果や課題等
(3) ボランティア保険 ① 加入者数：3,238名 ② 事故件数：3件 ・除雪ボランティア活動中に転倒し捻挫 ・移送サービス利用者が車両ドアに手を挟まれ皮下出血 ・見守り活動中に転倒し捻挫	ボランティア活動の事故に備えるとともに、安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進しました。また、事故発生時には速やかに保険請求手続きを行いました。 なお、発生した全ての事故のケガが完治され、保険金が支給となりました。
(4) ボランティア活動情報ボード事業 ① 掲示登録団体：10団体 ② 掲示依頼枚数：8枚	情報ボード（さくらホール、生涯学習センター、総合福祉センター）を設置し、ボランティア及びNPO団体の情報発信を支援しました。
(5) 日曜大工ボランティア 活動：0件（申請依頼0件）	一人暮らし高齢者、障がい者の自宅の小修繕等に対するボランティア派遣ですが、活動件数はありませんでした。 技術を持つボランティアの確保に努め、必要な方に支援ができるよう事業の周知を行います。
(6) 企業の地域貢献活動との連携 ① 東北緑生機による庭木の剪定活動 実施世帯 1世帯 ※4世帯から依頼あり。新型コロナウイルス感染症対策のため令和3年度に実施。 ② 企業からの相談に対する情報提供 7件	新型コロナウイルス感染症対策により、活動を控える企業もありましたが、企業からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行いました。
(7) ボランティア登録者研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	ボランティア活動センター登録ボランティア等を対象に、ともに支え合う地域社会づくりの推進を図ることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 福祉人材R eスタート事業 ① 期 日：2年9月14日（月） ② 会 場：北上市総合福祉センター、訪問介護利用者宅 ③ 受講者：2名 ④ 内 容：介護保険制度及び障がい福祉制度の講義、居宅実習	ホームヘルパー等の資格があり、結婚や出産、介護や育児等のために離職した方を対象に、現行制度の説明や居宅実習を行い、介護技術の振り返りなど再就職に向けた講座を開催しました。 引き続き、事業を通じて不足する福祉人材の確保や福祉職場への再就職を支援するとともに、北上市社会福祉法人連絡会分科会の場合などを活用し、福祉人材の育成・確保等を研究します。 【指標】 受講者数5名

- (3) 子供のころからの福祉教育を大切にし、各関係機関と連携強化のうえ、子供たちに福祉について“ふれる”機会を増やす

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ハウスクリーニング☆プロジェクト ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	子ども達が夏休みや休日を利用し、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、障がい者世帯を訪問して家の清掃ボランティア活動を行い、活動を通して、訪問先の方や参加者同士の世代交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】実施10地区

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 いきいきショップ☆ゆめいちば ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	障がい者施設への訪問による事前交流や障がい者施設で作られている商品の販売を高校生と施設利用者が一緒に行い、お互いの理解を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 なお、実施に代え、参加予定の高校生に対して施設の概要や販売商品に係る資料を送付し、知識向上の一助としました。 【指標】実施 年1回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 車いす修理ボランティア事業 ① 車いす修理ボランティア実施校： 黒沢尻工業高校 ② 修理車いす台数：7台	黒沢尻工業高校の生徒が、利用されなくなった車いすを修理・整備し、この活動を通して、福祉やボランティア活動について理解を深めることができました。なお、車いす技術講習会は、昨年度までは県内の実施校が一堂に会して開催していましたが、今年度は実施校毎に開催されたことから、より疑問や課題に応じた細かな技術指導を受けることができ、修理技術の向上も図られました。 また、社協だよりに事業を掲載し、市民への周知を図り、中古車いすや使用済み切手の寄付を呼びかけました。 【指標】修理台数15台

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 児童・生徒のボランティア活動に係る情報交換 学校・社協・地域ボランティア活動の取組みの周知	各学校・社協・地域で行っているボランティア活動一覧をもとに、市内の小学校・中学校・高校に対して出前講座等で紹介を行いました。 また、活動一覧の情報更新等を行うため、各校の福祉教育やボランティア活動の取組み状況等を調査するアンケートの準備を行いました。 【指標】情報交換会 年1回実施

基本目標 2 地域福祉を支えるネットワークづくり

- 避難者生活支援センター事業は、訪問活動の実施やイベント等を通じて避難者同士の交流の機会を提供するとともに、災害公営住宅への入居者や近隣住民に係る支援を関係機関と連携しながら行いました。
- コミュニティソーシャルワーカー活動事業では、昨年度に引き続き、生活課題を抱える世帯を把握するため、各支部への訪問や会議を活用し実態調査を行い、今後の支援活動の強化につなげました。
- 生活支援コーディネーター活動事業では、住民主体の支え合い事業の担い手を養成する等、高齢者の生活支援の取り組みを推進しました。

- (1) 生活課題を抱える誰もがSOSを出しやすく、そして地域住民や関係機関等がSOSを受け止めるネットワークとしくみづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいのまちづくり事業及び地域住民グループ支援事業(小地域ネットワーク活動) (1) 通年活動 ① ネット数：14支部、355ネット ② 中心者会議：40回開催 ③ 協力者会議：357回開催 ※詳細はP32～33参照 (2) 除雪活動 ① 対象世帯数：577世帯(ネット対象者と重複有) ② 協力者数：752名(ネット対象者と重複有) ③ 活動回数：10,730回(ネット対象者と重複有)	小地域を単位として、要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制により、見守り活動や安否確認等の支援活動を行いました。 また、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が増加している中、自力で除雪を行うことが困難な方に対して、地域で除雪活動を行いました。 なお、北上市が実施している地域除排雪制度について、北上市と連携し改善を図りながら地域の除雪体制の支援を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 避難者生活支援センター事業 【県社協委託事業】 ① 避難者生活支援センターの設置 センター長1名、生活支援相談員2名 ② 相談活動件数：157件 ③ 状況把握活動件数：449件 ④ サロン事業 ・てんどの会：8回、49名 ・ふるさとカフェ：8回、57名 ・黒沢尻アパートサロン：7回、55名 ・黒沢尻アパートラジオ体操：123回、1,867名 ・黒沢尻アパート花壇及びベンチづくり：2回、37名 ⑤ イベント事業 ・ブローチづくり講座：11名 ・救命講習会：13名 ・干支の置物づくり講座：15名	避難者世帯の巡回訪問、状況把握及び生活相談業務を通じ、避難者の抱える生活課題の把握や助言等を行うとともに、必要に応じて関係機関及び団体等へのつなぎや情報共有を行いました。 また、継続してサロン事業を行ったほか、新たに災害公営住宅入居者同士や近隣住民との“つながり”づくりのため、ラジオ体操や花壇整備等を行い、コミュニティ支援を行いました。 なお、岩手県における令和3年度以降の被災者支援の方向性等を踏まえ、要支援対象者の関係機関へのつなぎなど収束に向けた事業展開を行うこととしています。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
・ 作品展示会：来場者140名 出展者 23名、作品数186点 ・ ふるさと交流会：26名 ※詳細はP 33～34参照	

(2) 社協がこれまで培ってきた小地域での福祉ネットワークを生かした地域支援体制の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動事業 ① 配置人数：4名（兼務） ② 養成研修受講者数：1名 ③ 有資格者数：9名 ④ 相談件数：11件 相談内容：生活環境、就労、生計、除雪等 ⑤ 訪問件数：38件（清掃活動含む） ⑥ ケース検討会出席：21回 ⑦ CSW会議：15回 ⑧ その他：12回（課題解決会議、訪問見守り等） ⑨ 生活課題を抱える世帯の実態把握調査 3地区・支部で実施（全支部終了） ⑩ 小地域ネットワーク協力者会議への参加 立花支部内6地区へ参加し情報交換	定期的にCSW会議を開催し、ケース検討や対応の進捗状況を確認・情報共有するとともに、関係機関の会議に出席し、情報収集等を行いました。 また、昨年度に引き続き、生活課題を抱える世帯を把握するため、各支部の既存の会議を活用し実態調査を行うとともに、新たに小地域ネットワーク協力者会議に参加し、地域の課題等について情報共有を行いました。 今後は、実態調査結果をもとに緊急度等に応じて順次訪問活動や支援活動を行うとともに、積極的にアウトリーチを行いながら、引き続き課題の把握・掘り起し、解決を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 生活支援コーディネーター活動事業 【市委託事業】 ① 配置人数：1名 ② 養成研修受講者数：1名 ③ 有資格者数：3名 ④ ご近所おたすけサポーター養成講座 年1回実施、修了者数10名 ⑤ フォローアップ研修会 年1回実施、参加者数26名 ⑥ その他の活動：37件（会議、研修、訪問等） ※新型コロナウイルス感染症対策のため、養成講座を3回、研修会を2回中止	介護予防・日常生活支援総合事業の生活支援体制整備事業の一環として、「住民主体の支え合い事業」の担い手養成講座や講座後の活動を支援するフォローアップ研修会を開催する等、担い手の育成や活動の支援を行いました。 また、第1層コーディネーター（北上市、社協）と第2層コーディネーター（地域包括支援センター）の定例会議を開催し、活動状況や課題等を協議し、情報共有を行いました。 今後も、高齢者の生活支援ニーズや地域課題の把握に努め、必要に応じて新たなサービスを開拓します。 【指標】養成研修受講者2名

(3) 地域内の事業所や施設、企業と一体となったネットワークによる情報共有

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 広域社協事業 (1) 令和2年度北上・和賀広域社協総会 ① 期 日：書面審議 ② 出席者：10名（うち北上社協5名） (2) 令和2年度北上・西和賀地区民生委員・児童委員研修会 ① 期 日：2年11月5日（木） ② 会 場：北上市文化交流センター さくらホール 大ホール ③ 出席者：196名 ④ 内 容： 行政説明：「ひきこもりの理解と支援～民生委員・児童委員としてできること～」 説明者：岩手県精神保健福祉センター 主任心理判定員 佐藤 広江 氏 講演：「認知症サポーター養成講座」 講師：認知症の人と家族の会岩手県支部 菊池 富士子 氏	31年度事業報告及び収支決算報告、2年度事業計画及び収支予算について、書面審議の方法により総会を行いました。 民生委員児童委員の資質向上を図るため、県南広域振興局花巻保健福祉環境センターと合同で研修会を開催しました。 行政説明では、ひきこもりに関する基礎知識や相談窓口について、講演では、認知症の方への適切な接し方や対応方法について研修し、理解を深めました。
(3) 北上・和賀広域社協役職員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	役職員の資質向上及び北上市、西和賀町両社協の情報交換を目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
(4) 第35回北上・和賀地区ボランティアの集い ① 期 日：2年10月25日（日） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 出席者：35名（うち北上社協19名） ④ 内 容： ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 ・情報共有模擬実践	北上市及び西和賀町の地域や施設等でボランティア活動をしている方、またはこれから始めようとしている方々が一堂に会し、地域福祉・地域づくりについて相互に学習することを目的に開催しました。 今年度は、岩手県社会福祉協議会主催の「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」とあわせて開催し、広域市町村ネットワーク連絡会議で構築したネットワーク内の連携方法や発災時の適切な支援方法等を確認・研修しました。

基本目標 3 充実した福祉サービスの仕組みづくり

- なんでも心配ごと相談センター及び暮らしの自立支援センターきたかみには、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮した方々からの相談が大幅に増加しました。相談者には、生活福祉資金特例貸付やフードバンク事業等を紹介・活用するなど自立に向けた支援を行いました。
- ひきこもり支援のあり方を検討してきた「ひきこもり支援連絡会」を発展して設置された「北上市ひきこもりネットワーク協議会」に参画し、今後のひきこもり支援のあり方等について協議・検討を行い、新たにひきこもりサポート事業を実施することになりました。
- 介護保険事業では、要支援認定を受けた方の介護保険から市総合事業への移行に伴う支援を行うとともに、新型コロナウイルスの感染によって、特にも重症化しやすい要介護高齢者や障がい者に対して、万全の感染対策を講じながら支援しました。
- 生活困窮者自立支援事業は、事業の周知が図られ、広く市民等から相談が寄せられておりますが、関係機関等との連携により、相談者の個別ケースに応じて包括的な支援を行うことができました。
- 子どもの学習支援事業や地域まるまる食堂（子ども食堂）事業は、新型コロナウイルス感染症の中で制限はありましたが、ボランティアの協力をいただき実施することができました。また、高校中退防止の取組み、進路選択の一助として、新たに進路相談会を実施しました。

- (1) 必要な人に必要なサービスを届けるため、身近なところでどんなことも相談できる体制づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 なんでも心配ごと相談センター事業 ① なんでも心配ごと相談センター ・北上市総合福祉センター 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (司法書士相談) 毎月第2、4木曜日 13:00～16:00 ② 開設日数：244日 ③ 相談人数：756人（うち司法書士相談4回、5人） ④ 相談件数：延べ1,837件 ※詳細はP35参照	市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、解決へのアドバイスや専門機関及び関係機関への紹介を行いました。今年度は、新型コロナウイルスの影響に伴う生計に係る相談が大幅に増加し、引き続き相談対応が必要です。 なお、相談対応にあたっては、暮らしの自立支援センターきたかみと連携を図りながら行っていますが、更に効果的な相談体制等のあり方を検討する必要があります。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 なんでも心配ごと出張相談事業 新型コロナウイルス感染症対策のため中止	市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、身近な場所で相談することができるよう出張相談会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 課題等を踏まえ、事業の必要性等を検討します。 【指標】出張相談会 年2回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 相談員スキルアップ事業 ① 開催回数：1回 ② 内容： ・対応に苦慮する相談者への対応について ～法的な視点から～ 講師：弁護士 深瀬 懇 氏 ③ 参加人数：延べ27名	相談員の資質向上を図るため、内部研修を実施し、相談員として必要な知識を広く学ぶことができました。 講師からは、相談業務中に起こり得るトラブルや対処方法、判例を交えて講義をいただき、今後の業務を行う上で参考となりました。 【指標】 内部研修会 年3回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 トータルガイドブック作成事業 北上市内の民間も含めた関連サービスを整理した冊子を作成しています。	あらゆる相談に対して適切な対応や専門機関への橋渡しを行うため、北上市内の民間も含めた関連サービス(フォーマル・インフォーマルサービス)を集約・整理したトータルガイドについて、当協議会ホームページに掲載し、周知を図りました。 【指標】 配布先等の検討

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 ひきこもり等支援事業 ① 北上市ひきこもりネットワーク協議会への参加：3回 ② 北上市ひきこもりネットワーク協議会ワーキンググループへの参加：2回 ③ ひきこもり支援に関する打合せ：随時	北上市ひきこもりネットワーク協議会において今後のひきこもり支援のあり方を協議・検討した結果、相談窓口の明確化や居場所の設置が必要ことから、令和3年度より新たに北上市からひきこもりサポート事業を受託し、相談支援や自立支援等を実施することになりました。 また、職員の資質向上を図るため、オンライン形式による全国規模の研修会に参加しました。

(2) すべての人にとって偏りのないサービスの充実を図るため、新たなサービスの開拓と既存サービスの随時見直し

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 日常生活自立支援事業・成年後見推進支援事業【県社協委託事業】 ① 専門員及び生活支援員数 ・専門員 2名、生活支援員 12名 ② 北上基幹社協管内生活支援員会議等 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ③ 契約件数及び支援状況等 ・契約件数(今年度)：14件 ・契約件数(累計)：142件(支援中62件) ・専門員訪問回数：237回 ・支援員支援回数：814回 ※詳細はP35参照	金銭管理の難しい認知症高齢者及び障がい者等から預貯金通帳や印鑑を預かり、公共料金の支払いの手続き、生活費の払い戻し等のサービスと福祉サービスを利用するために必要な手続き等を支援しました。なお、特に高齢の利用者が多いことから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して対応しました。 また、成年後見制度の普及啓発と利用促進を図るため、引き続き相談窓口の設置や社協だより掲載による普及啓発を行いました。 利用者に対して適切な支援を実施する上で、行政、医療機関及び障がい者相談支援事業所等の関係機関との情報共有、連携強化に努めます。

④ 契約件数（市町別）

	令和3年3月末日 実利用者	契約件数
北上市	45	114
西和賀町	17	28
計	62	142

⑤ 契約件数（対象者別）

契約者 事 項	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	うち 生活保護
契約件数	85	34	21	2	142	
実利用者	27	21	14	0	62	18

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 車いす及びチャイルドシート貸出事業 (1) 車いす ① 利用者数：延べ31名 ② 保有台数：20台 (2) チャイルドシート ① 利用者数：16名 ② 保有台数：46台（うち寄付台数：30台）	車いすの貸与は、障がい者や高齢者とその家族との外出等に利用され、社会参加の促進につながりました。 また、チャイルドシートの貸与について、昨年度に多くの寄付をいただいたことから、利用希望者に対して安定した貸出しを行うことができました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 在宅高齢者等配食サービス事業【市委託事業】 ① 利用登録者数：34名 ② 配食日数：193日 ③ 提供食数：延べ2,693食 ④ 調理ボランティア人数：延べ681名 ⑤ 配送ボランティア人数：延べ1,014名 ※詳細はP36参照	在宅で調理の困難な一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯に対して、調理及び配送ボランティアの協力をいただき、栄養のバランスが取れた食事の提供、安否確認及び孤独感の軽減を図りました。 また、季節に応じた献立作成や行事食を実施するとともに、保育園給食の献立と当献立を交換して提供し、園児と高齢者がお互いに食べることの楽しみと関心を高めました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 日常生活関連動作訓練事業【市委託事業】 （食生活改善推進員協議会へ業務委託） ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	日常生活動作の中の炊事に重点を置き、食生活のポイント等を実際の調理を交えながら指導し、食の面から介護予防、自立生活を支援することを目的に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。なお、実施に代えて、口腔体操のパンフレットを配付し、嚥下能力の維持向上について啓発を行いました。 また、当該事業は市における事業の見直しに伴い、今年度を以って終了となりました。 【指標】 参加率40%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 北上おげんき発信事業 利用登録者数：14名 ※詳細はP36参照	見守りが必要な高齢者等を対象に、毎日の電話での安否確認による見守りを行い、不安の解消につなげました。 また、安心して在宅生活を継続することができるよう、必要に応じて利用者の状態等を家族やケアマネジャー、民生委員と情報共有を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 障がい者等生活支援事業【市委託事業】 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	視覚障がい者の自立生活を支援することを目的に、市内の飲食店の方等を講師に招いて料理教室を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 今後は、北上市障がい者プランに留意しながら、当事者のニーズの沿った事業を実施します。 【指標】 参加者10名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 声及び点字広報作成事業 【市委託事業】 (1) 声の広報作成事業 ① 朗読内容及び回数 広報きたかみ 24回 福祉だより 8回 市議会だより 4回 敬愛園だより 12回 ふれあい119 2回 物故者 24回 月刊さくらホール 11回 ② 総発送数：延べ902回 ③ 利用者数：18名、3施設 ④ 朗読団体：サークルのぎく 12名 サークルせきれい 12名	広報きたかみや福祉だより等の掲載内容を声の広報（CDまたはカセットテープに録音）として作成し、視覚障がい者に情報提供しました。 また、録音した声の広報をボランティア会員内で確認し、音読の速さや発音等の技術の向上に努めました。
(2) 点字広報作成事業 ① 点訳内容及び回数 広報きたかみ 24回 ② 総発送部数：48部 ③ 利用者数：2名 ④ 点字作成団体：北上点訳の会 17名	広報きたかみを点訳し、点字広報として視覚障がい者に情報提供しました。 また、点訳ミスがないかなど随時ボランティア会員内で確認する等技術の向上に努めました。
(3) 声の広報・点字広報利用者とボランティアの交流会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	声の広報・点字広報利用者と音声訳・点訳ボランティアが一堂に会し、情報交換や意見交換・交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
8 居宅介護支援事業 契約者数：43名 ※詳細はP36参照	要介護者の心身の特性を踏まえ、個人の保有能力、介護者の介護力等の評価等を行いながら、介護支援計画を作成するとともに、その都度必要なサービスの見直しを行いました。また、現状のサービス量が不足する利用者に対しては、早期に区分変更するなど適切な援助を行い、利用者や家族が安心して在宅生活が継続できるよう支援しました。 今後も北上市の地域包括ケアシステムや障がい福祉サービス事業者等と更に連携を図り、利用者のニーズに対応できるよう支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
9 障がい者相談支援事業 契約者数：31名 ※詳細はP37参照	障がい者や保護者、介護者等の相談に応じ、利用者が希望する生活を実現するため、必要なサービスの情報提供や社会資源を活用しながら利用者の抱える課題解決を行い、社会生活力の向上に向けて障がいの特性に沿ったサービス等利用計画を作成しました。また、新型コロナウイルス感染症に係る対応として、訪問面接から電話聞き取り方法に切替えてモニタリングを実施しました。 引き続き、障がい者が自立した生活を送ることができるよう、医療機関や障がい福祉サービス事業者等と連携し、北上市障がい者プランに沿った事業を実施するとともに、高齢障がい者の介護保険制度へのスムーズな移行など切れ目なくサービスが利用できるよう支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
10 訪問介護事業 (1) 訪問介護事業（介護保険） ① 契約者数：21名 ② 利用者数：延べ243名 ③ 派遣回数：2,261回 ※詳細はP37参照	要介護者が自立した日常生活を送ることができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、利用者に関わるケアマネジャー、地域包括支援センター、医師及び訪問看護師等の他職種・他事業所との連携を図り、在宅での生活を支援しました。 なお、高齢化の進行が一層加速し、サービス量の増加が見込まれる中で、全国的にも介護人材が慢性的に不足となっており、当事業所としても訪問介護員の増員・採用が困難なため、引き続き募集方法の見直しや検討を行います。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
(2) 障害者訪問介護事業(障害者総合支援法) ① 契約者数：33名 ② 利用者数：延べ303名 ③ 派遣回数：3,020回 ※詳細はP37参照	障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 なお、視覚障がい者に対する外出等の移動支援従事者を養成する「同行援護従業者養成研修」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
11 障害者等移動支援事業(障害者総合支援法) ① 契約者数：8名 ② 利用者数：延べ15名 ③ 派遣回数：21回(買物、趣味活動等) ※詳細はP38参照	障がい者の外出及び余暇活動等の移動を支援しました。 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴いイベントや行事等の中止、また、外出を自粛する利用者が多く、派遣回数が大幅に減少しました。 【指標】継続実施

事業名内容及び実績	成果や課題等
12 成年後見利用支援事業 受任者数：1名(保佐人1名)	認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力の不十分な方が、日常生活を送る上で契約や財産管理について不利益を被ることがないように、当協議会が成年後見人として、受任者の生活を支援しました。 また、北上市が設置した北上市成年後見制度利用促進審議会委員として、「北上市成年後見制度使用促進基本計画」の策定に参画しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
13 訪問理美容事業 (ふれあいのまちづくり事業) ① 利用者実数：34名 ② 利用回数：50回(理容店48回、美容店2回)	外出が困難な寝たきり高齢者や重度障がい者の希望者に対し、岩手県理容及び美容生活衛生同業組合北上支部や民生委員児童委員の協力を得て、自宅を訪問し理容・美容(整髪)を行いました。 事業を必要とする方が利用できるよう、社協だよりや支部活動を通じて更に周知を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
14 住まいの片づけ応援事業 ① 第1回 ・期 日：2年7月28日（火） ・活動人数：18名 ・連携機関：市福祉課及び環境政策課、民生委員、ケアマネジャー、地域包括支援センター ② 第2回 ・期 日：2年8月12日（水） ・活動人数：9名 ・連携機関：民生委員、ケアマネジャー、地域包括支援センター ③ 第3回 ・期 日：2年8月上旬～中旬 ・状況を勘案し清掃事業者に依頼 ※業者へのつなぎと福祉サービス利用に向けた関係機関との連絡調整等を支援	自宅または敷地内にごみが放置され、生活に支障がある世帯を対象に、地域や近隣との関係を構築しながら、地域で安心して生活することができるよう生活環境の改善を支援しました。また、支援に係る手順等のマニュアルの整備も行いました。 今後も、実態把握調査を活用し、地域の協力をいただきながら支援を行います。 【指標】随時実施、実態把握調査の実施

(3) 同じ悩みを抱えている人、目的をもった人同士の集まりの場づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいデイサービス事業【市委託事業】 ① 開設行政区：125行政区 ② 開設ふれデイ箇所：142箇所 ③ ふれデイ利用者数：延べ6,427名 (参加率7.5%) ④ ふれデイ協力者数：延べ3,155名 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、5月及び12月から3月は開催中止 ※詳細はP38参照	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、地域の自治公民館等を会場に、高齢者の介護予防活動（趣味活動、レクリエーション活動等）を実施し、高齢者の生きがいがづくりや社会参加、孤独感の軽減等を図ることができました。 今後も、介護予防の効果的な事業展開のあり方を研究するとともに、幅広い世代が集う地域づくりの場としての活用を検討します。 【指標】参加率30%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 障害者地域活動支援センター事業 【障害者総合支援法】 ① 創作活動及び機能訓練：8教室 ② 契約者数：46名 ③ 開催回数：126回 ④ 利用者数：延べ619名 ⑤ 展示会：2年12月4日（金）～6日（日） ※詳細はP38参照	障がい者の自立の促進、生活の向上が図られるよう、通所による創作活動及び機能訓練のサービス提供を行い、障がい者の社会参加と福祉の増進を図りました。 なお、利用者の固定化・高齢化により、教室によっては少人数での開催となっていたことから、利用者の意向を確認し、教室の種類や内容等を見直しました。 【指標】契約者数60名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 障がい者リフレッシュ事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	心身に障がいを持つ方を対象に、仲間とのふれあいや親睦、社会参加の促進や生きがいを高めることを目的に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 行事開催 年2回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 子育て支援事業 (1) 子育てサロン ① 開催回数：5回【毎月1回(第3木曜日、10時から正午)】 ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者数：延べ69名 ④ ボランティア活動人数：延べ30名 (2) 子育て用品お譲り会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ※詳細はP39参照	子育て支援ボランティア「パレット」と協働で、乳幼児と保護者を対象に【あそびのお部屋】を開設し、親子遊びや情報交換、育児相談等を通じて、子育ての不安や悩みを軽減しました。 なお、子育てサロンの一部と子育て用品お譲り会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 サロン開催 月1回 子育て用品譲渡会開催 年1回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 ひとり親世帯支援事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	ひとり親世帯(母子・父子家庭等)を対象に、行事の開催を通じて親子のふれあいやひとり親家庭相互の交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 集い等行事実施 年2回

内容及び実績	成果や課題等
6 出会いの場づくり事業 (1) 県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症対策のため欠席	県南広域圏において結婚・出産・子育てを支援している団体間の情報交換・意見交換を行う連絡会議に出席予定でしたが、出席を見合わせ、当協議会の取組みを情報提供しました。 結婚活動の支援として男女の出会いの場を提供することを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 イベント実施 年3回 各団体との意見交換会
(2) 婚活イベントの開催 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	

(4) 生活困窮者等に対する包括的支援と対応の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習支援事業) 【市委託事業】 ① 暮らしの自立支援センターきたかみ設置 主任相談支援員 1 名、相談支援員兼就労支援員 3 名、学習相談支援員 1 名 ② 相談者実数：533 名 ③ 相談申込（同意）者数：167 名 ④ プラン策定者数：41 名（再プラン10 名含） ⑤ 相談方法及び内容 ※詳細は P 39～40 参照	年齢や属性に関わらず広く相談に対応し、個別のケースに応じて包括的・継続的な支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う相談が大幅に増加しましたが、関係機関と連携しながら相談対応にあたることができました。 複雑かつ多くの課題を抱えた世帯からの相談や長期にわたり継続的な支援が必要な世帯が増加していることから、今まで以上に相談体制や関係機関との連携・強化が必要です。
西和賀町生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援事業、家計改善支援事業) 【県委託事業】 ① 相談支援員 1 名 ② 相談者実数：28 名 ③ 相談申込（同意）者数：3 名 ④ プラン策定者数：3 名 ⑤ 相談方法及び内容 ※詳細は P 40～41 参照	西和賀町に居住する生活困窮者の自立の促進を支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。 なお、業務の一部を西和賀町社会福祉協議会に再委託し、暮らしの自立支援センターきたかみ相談支援員と連携を図りながら、きめ細やかな支援に努めました。 今後も、支援を必要とする方を広く把握するため、事業の周知やアウトリーチ（訪問活動）を積極的に行い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 フードバンク運営事業 ① 寄付件数：261 件（うちフードポスト48 件） ② 提供件数：147 件 ※詳細は P 42 参照	当協議会相談者のうち、緊急に食料支援が必要な生活困窮者等の世帯に対して支援を行い、食の確保や自立に向けた意欲の向上を図ることができました。 また、ひとり親世帯等を対象としたフードパントリーの実施、市内で活動している子ども食堂への食料提供等を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 子どもの学習支援事業（まるまる学び塾） 【市委託事業】 ① 開催回数：49 回 ・毎月第 1 及び第 3 木曜日 17:00～19:00 ・毎月第 2 及び第 4 土曜日 10:30～14:30 ・夏休み及び冬休み各 5 日 10:30～14:30 ② 会 場：北上市生涯学習センター 北上市総合福祉センター	家庭の事情や経済的な理由等で学習する環境が十分でない子どもたちを対象に、学習支援ボランティアの協力を得て学習支援と学習の場（居場所づくり）の提供を行いました。 また、子どもの学習支援事業の開催日にあわせて、進学・就職など様々な進路があることを紹介し進路選択の一助となるよう、新たに進路相談会を実施しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
③ 登録者数：30名（小学生18名、中学生12名） ③ 参加者数：延べ453名 ④ ボランティア活動人数：延べ235名 ⑤ それぞれの進路相談会 ・期 日：2年10月10日（土） ・会 場：北上市生涯学習センター ・参加者：17名 （親子2組、中学生1名、保護者1名、 一般3名、講師など8名） ※詳細はP42参照	【指標】 定期開催実施 週1回 長期休業中実施 年2回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 地域まるまる食堂（子ども食堂）事業 ① 開催回数：7回 ② 会 場：北上市生涯学習センター ③ 参加者数：延べ196名 （小学生68名、中学生14名、保護者等22名、地域住民等 23名、ボランティア69名） ④ 内 容：あそびの時間、まなびの時間、 食堂開設 ⑤ 地域の開設支援：2件（開設に係る相談） ※詳細はP42～43参照	学習支援事業にあわせて「地域まるまる食堂」（子ども食堂）を実施しました。また、子ども食堂の開設に係る相談にも随時対応しました。 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、一同型の食事を弁当の配付に変更したり、地域の方々には参加を自粛していただくなど対策を講じながら実施しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 たすけあい資金貸付事業 ① 貸付状況：40件、 844,000円 ② 償還状況：79件、 749,000円 ③ 貸付残高：68件、1,533,000円 ※詳細はP43参照	低所得世帯等に生活費や応急的な費用を無利子で貸付けしました。 生活困窮者自立支援事業と連携を図るとともに、フードバンク運営事業とあわせ迅速かつ効果的に対応しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 生活福祉資金貸付事業 （実施主体：岩手県社協、相談窓口：当協議会） ① 貸付状況： 547件、162,913,000円 ※うちコロナ特例貸付 527件、151,530,000円 ② 償還状況：延べ3,747件、 25,090,923円 ③ 貸付残高： 1,116件、500,971,522円 ※詳細はP44～47参照	低所得世帯等に対して、修学資金や生活費等の資金を低利子（一部無利子）で貸付けしました。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活資金が必要な方々に対する特例貸付が実施され、申請に係る相談等が大幅に増加し、ゴールデンウィーク中に臨時相談日を設けるなどして相談支援にあたりました。 なお、資金借受世帯のうち自立支援が必要な世帯については、生活困窮者自立支援事業と連携しながら支援を行いました。

基本目標 4 暮らしやすい地域環境づくり

- 地域福祉活動応援事業では、地域福祉を推進する先進的な活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。
- 災害ボランティアセンター事業では、岩手県社会福祉協議会主催による『災害ボランティアセンター設置運営研修等支援事業』の一環である、「広域市町村ネットワーク連絡会議」及び「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」に参画し、今後の関係機関等との連携の在り方、災害ボランティアセンターの設置・運営方法等について職員の資質向上を図ることができました。

- (1) 子どもからお年寄りまで地域で生活するうえでの環境面の不安の解消と、安心して過ごせるまちづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 支え合いマップ作成事業 ① 作成済地区：23地区	地域で見守りが必要な要援護者と地域内の社会資源等との関わりが一目で分かるようマップの作成を支援しています。 今後も、マップを作成する利点や活用方法を周知し、新規作成地区の拡大を図るとともに、作成したマップの更新作業の支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 救急医療情報キット配布事業 【市委託事業】 ① 新規対象世帯数：230世帯 ② 新規配布世帯数：165世帯（配布率71.7%）	高齢者等への緊急時の迅速かつ適切な医療活動を円滑に実施するため、新たに対象となった市内の70歳以上の一人暮らし高齢者等にキットを配布しました。配布にあたっては、福祉協力員が民生委員児童委員の協力をいただきながら実施し、世帯状況の把握や支援の必要性等の情報収集も兼ねて行いました。 なお、事業の見直しを行い、過年度配布済世帯の情報用紙の更新等のフォローアップは行いませんでした。 【指標】令和5年度までに3,400個配布（市目標値）

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 買い物支援事業 市内の買い物に係る事業者等の一覧作成	昨年度作成した買い物支援に取り組む事業者等の一覧について、更に社会資源等の現状把握・情報収集を行い、内容の更新を行いました。 今年度の試行実施には至りませんでしたが、今後、市内の実施事業者と具体的な実施に係る協議を行うとともに、生活支援コーディネーター連絡会議等においてもあり方を検討・研究します。 【指標】試行実施

内容及び実績	成果や課題等
4 ふれあい移送サービス事業 ① 移送車両：3台 (車いす搭乗2台、回転シート1台) ② 利用登録者数：145名 ③ 利用人数：延べ283名 ④ 運転ボランティア人数：延べ268名 ⑤ 介助ボランティア人数：延べ5名 ⑥ 新規ボランティア登録人数：1名 ※詳細はP48 参照	既存の公共交通機関を利用できない高齢者や身体障がい者等に通院の移送サービスを提供し、生活支援を行いました。 今後も、サービスを必要とする方が利用できるよう周知を図るとともに、新規ボランティアの確保を行い、安定した事業運営に努めます。 【指標】充足率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 あんしん生活応援講座 様々な不安を抱えながら生活する一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯に対し、不安を少しでも解消できるよう、必要な情報(介護保険や各種サービスの利用方法、遺言や相続等)を提供する講座を開催し、生活を応援します。	ふれあいデイサービス等での試行実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 健康や介護など高齢者に身近で関心の高いテーマ・内容を検討し実施します。 【指標】実施回数 年3回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 地域福祉活動応援事業 ① 助成団体：1団体(新規1団体) ・ふれあいサロン ② 助成金額：14,000円 (助成金交付決定額：80,000円)	地域福祉を推進する先進的な活動や地域の新たな福祉課題に取り組む活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。 継続2団体及び新規1団体への助成を予定していましたが、応募に関する相談はあったものの、最終的には申請のあった1団体に対する助成となりました。なお、当該団体についても新型コロナウイルス感染症対策により事業規模を縮小したことから、助成金額が減額となりました。 必要とする地域・団体等に活用いただけるよう更に周知を行い、事業の認知度向上を図るとともに先進的な活動の発掘を行います。 【指標】5団体助成(500,000円)

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 災害ボランティアセンター事業 ① 広域市町村ネットワーク連絡会議への協力及び出席 ・期 日：2年9月14日（月） ・会 場：高齢者生活福祉センター悠々館（西和賀町） ・出席者：28名（北上市より13名出席） ・内 容： - 岩手県防災ボランティア活動推進指針の改定内容について - 各機関・団体による災害対応の取組みについて - 広域研修・訓練の実施について - 相互連携の必要性について ② 災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練への協力及び出席 ・期 日：2年10月25日（日） ・会 場：北上市総合福祉センター ・参加者：35名（北上市より19名参加） ・内 容： - 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 - 情報共有模擬実践	岩手県社会福祉協議会が主催する「災害ボランティアセンター設置・運営研修等支援事業」の一環として、災害ボランティアセンターに係る平時及び災害時の役割分担、連携・協働の在り方を確認及び協議するとともに、平時から関係機関及び団体の「顔の見える関係」のネットワークを構築し、様々な取組みを円滑に行うことを目的に「広域市町村ネットワーク連絡会議」が開催されました。このネットワーク連絡会議の開催に協力及び出席し、関係機関等との情報共有・相互連携の必要性について共通理解を図ることができました。 また、このネットワーク連絡会議の出席者が参加し、ネットワーク内の連携方法や発災時の適切な支援方法を確認することを目的に「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」が実施されました。この研修訓練の実施に協力及び参加し、災害ボランティアセンターの設置から運営までの流れ、運営時の留意点等を参加者間で共有するとともに、参加した職員のスキルアップを図ることができました。 北上市で災害が発生した場合に備え、災害ボランティアセンターの設置訓練の継続実施及び北上市や関係団体等との更なる連携強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症に対応したマニュアルの改定等を行い、安全な災害ボランティアセンターの設置・運営ができるよう体制整備を図ります。 【指標】設置・運営訓練実施、災害発生時の職員派遣

(2) すべての人が、支援が必要な人を理解することができる地域づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 社協出前講座（病気及び障がい理解編） ① 派遣回数：7回 ・小学校：5回 ・一 般：2回 ② 参加人数：延べ679名 ③ 体験用具の貸出し：2回 ・小学校：2回	北上市出前講座のメニューに病気及び障がい理解編の講座を登録し、学校や団体等からの要請に対応しています。 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により体験メニューは派遣依頼が減少しましたが、講話や体験用具の貸出しを含め、講座を通じてボランティアの基礎知識や障がいを持つ方への接し方等について講義を行い、理解を深めました。 【指標】派遣18回、参加人数延1,000名

5 地域福祉を推進するための基盤づくりの強化

- 理事会及び評議員会等の各種会議開催を通じて、地域課題や事業等に対する意見等を聞きながら、その改善に努め、更なる経営の活性化に努めました。
- 当協議会事業運営・財務状況改善の方向性を協議し、次年度に向けた取組みを整理しました。
- 市内全ての社会福祉法人(17法人)に加入いただき、北上市社会福祉法人連絡会を設立しました。
- 福祉関係者・団体、民間の福祉サービス提供事業者及び行政機関と協働、協力を得ながら地域福祉を推進しました。
- 当協議会の事業を推進するため、市内各世帯等から会費や寄付の協力をいただき、事業の推進や運営に活用しました。
- 第4次北上市地域福祉活動計画における、令和2年度の指標の達成に向けて事業活動を実施しました。

(1) 社会福祉協議会の運営

① 三役会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：2年4月13日（月） 出席者 11名（役員4名、職員7名）	第7回：2年10月15日（木） 出席者 11名（役員4名、職員7名）
第2回：2年5月15日（金） 出席者 10名（役員3名、職員7名）	第8回：2年11月16日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第3回：2年6月11日（木） 出席者 11名（役員4名、職員7名）	第9回：2年12月15日（火） 出席者 11名（役員4名、職員7名）
第4回：2年7月15日（水） 出席者 10名（役員3名、職員7名）	第10回：3年1月15日（金） 出席者 11名（役員4名、職員7名）
第5回：2年8月18日（火） 出席者 9名（役員3名、職員6名）	第11回：3年2月15日（月） 出席者 11名（役員4名、職員7名）
第6回：2年9月15日（火） 出席者 11名（役員4名、職員7名）	第12回：3年3月8日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）

② 理事会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・2年5月28日（木） ・出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会表彰推薦要領の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会表彰推薦基準の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会表彰規程の一部改正について (4) 平成31年度北上市社会福祉協議会事業報告について (5) 平成31年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (6) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (7) 北上市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について (8) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第2回 ・2年6月12日（金） ・出席者 理事11名 監事3名	(1) 第30回北上市社会福祉大会被表彰者の決定について (2) 北上市社会福祉協議会福祉基金運営委員の委嘱について

開催期日	議題及び協議事項
第3回 ・ 2年8月27日（木） ・ 出席者 理事11名 監事3名	(1) 令和2年度歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分について
第4回 ・ 2年10月29日（木） ・ 出席者 理事9名 監事3名	(1) 当協議会事業運営・財務状況改善の方向性について
第5回 ・ 2年12月17日（木） ・ 出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会総合福祉センター管理運営規程の一部改正について (2) 避難者生活支援事業（避難者生活支援センター）の方向性について
第6回 ・ 3年3月15日（月） ・ 出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会地域福祉支援センター事業運営要領の廃止について (2) 北上市社会福祉協議会非常勤職員取扱要領の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会臨時的任用職員取扱要領の一部改正について (4) 北上市社会福祉協議会定款の一部改正について (5) 北上市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について (6) 北上市社会福祉協議会評議員、理事及び監事選任規則の一部改正について (7) 北上市社会福祉協議会会員規則の一部改正について (8) 北上市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について (9) 北上市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について (10) 北上市社会福祉協議会指定障害者訪問介護事業所運営規程等の一部改正について (11) 北上市社会福祉協議会暮らしの自立支援センターきたかみ設置運営規程の一部改正について (12) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第2号）について (13) 令和3年度北上市社会福祉協議会事業計画について (14) 令和3年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

③ 評議員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 2年6月11日（木） ・ 出席者 評議員22名 理 事4名 監 事3名	(1) 北上市社会福祉協議会表彰規程の一部改正について (2) 平成31年度北上市社会福祉協議会事業報告について (3) 平成31年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (4) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について

開催期日	議題及び協議事項
第2回 ・ 3年3月22日（月） ・ 出席者 評議員19名 理 事4名 監 事3名	(1) 北上市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会総合福祉センター管理運営規程の一部改正について (4) 北上市社会福祉協議会指定障害者訪問介護事業所運営規程等の一部改正について (5) 北上市社会福祉協議会暮らしの自立支援センターきたかみ設置運営規程の一部改正について (6) 北上市社会福祉協議会定款の一部改正について (7) 北上市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について (8) 北上市社会福祉協議会評議員、理事及び監事選任規則の一部改正について (9) 北上市社会福祉協議会会員規則の一部改正について (10) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第2号）について (11) 令和3年度北上市社会福祉協議会事業計画について (12) 令和3年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

④ 監事会の開催状況

開催期日	監査内容
第1回 ・ 2年5月21日（木） ・ 出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和2年3月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について (2) 平成31年度北上市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計収支決算について
第2回 ・ 2年8月27日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和2年6月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第3回 ・ 2年11月26日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和2年9月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第4回 ・ 3年2月25日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和2年12月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について

⑤ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 2年6月3日（水） ・ 出席者 委 員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について

⑥ 支部長会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：2年4月13日（月）	出席者 22名（支部長13名、役職員9名）
第2回：2年5月15日（金）	出席者 25名（支部長14名、役職員11名）
第3回：2年10月19日（月）	出席者 27名（支部長14名、役職員13名）
第4回：3年2月26日（金）	出席者 28名（支部長14名、役職員14名）

⑦ 職員会議の開催状況

開催期日及び出席者数			
第1回：2年4月13日（月）	出席者 26名	第7回：2年10月15日（木）	出席者 31名
第2回：2年5月15日（金）	出席者 26名	第8回：2年11月16日（月）	出席者 29名
第3回：2年6月15日（月）	出席者 32名	第9回：2年12月15日（火）	出席者 33名
第4回：2年7月15日（火）	出席者 31名	第10回：3年1月15日（金）	出席者 29名
第5回：2年8月18日（火）	出席者 31名	第11回：3年2月15日（月）	出席者 32名
第6回：2年9月15日（火）	出席者 31名	第12回：3年3月8日（月）	出席者 34名

(2) 社協支部活動運営費の助成（単位：円）

支部名	支部運営費	福祉協力員 活動費	小地域ネットワーク事業費		合 計
			ふれまち	住民グループ	
黒沢尻北	692,000	35,000	37,500	817,364	1,581,864
黒沢尻東	647,000	37,000	14,500	827,895	1,526,395
黒沢尻西	579,000	34,000	39,900	602,995	1,255,895
立 花	233,000	9,000	28,400	110,476	380,876
飯 豊	664,000	30,000	51,000	434,216	1,179,216
二 子	303,000	13,000	22,400	175,517	513,917
更 木	170,000	13,000	17,800	184,268	385,068
黒 岩	160,000	8,000	6,000	103,518	277,518
口 内	197,000	18,000	2,000	57,214	274,214
稲 瀬	151,000	6,000	52,300	156,204	365,504
相 去	540,000	23,000	26,200	816,668	1,405,868
鬼 柳	373,000	16,000	32,200	257,568	678,768
江 釣 子	688,000	32,000	2,000	399,918	1,121,918
和 賀	876,000	69,000	56,000	1,117,179	2,118,179
合 計	6,273,000	343,000	388,200	6,061,000	13,065,200

(3) 総合福祉センター等の管理及び運営

内容及び実績	成果や課題等
① 北上市総合福祉センター ・利用件数： 989 件 ・利用者数：17,624 名 ② 和賀町総合福祉センター ・利用件数： 299 件 ・利用者数：2,759 名 ③ 江釣子老人福祉センター【市指定管理】 ・利用件数： 252 件 ・利用者数：2,646 名 (60 歳以上 1,724 名、60 歳未満 922 名) ※詳細は P 48～49 参照	北上市及び和賀町総合福祉センターは当協議会の事務所となっているほか、住民主体の地域福祉活動の拠点として貸出ししています。また、ボランティア団体や趣味の会等の活動の場としても多様に利用されています。 江釣子老人福祉センターは、北上市の指定管理者として施設を管理運営してきましたが、地区交流センターへ機能移転となり、令和 2 年度を以って指定管理が終了しました。 施設管理にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策として、利用者に対するマスク着用、手洗い、手指消毒等を徹底し、感染防止に努めました。 経年による建物の修繕及び改修について、費用の確保等の検討が必要です。

(4) 社会福祉法人連絡会の組織化

内容及び実績	成果や課題等
1 北上市社会福祉法人連絡会の組織化に係る法人代表者会議 ① 期 日：3 年 2 月 12 日（金） ② 会 場：さくらホール 小ホール ③ 参加者：市内社会福祉法人 15 法人、27 名 ④ 内 容： ・連絡会の組織化について ・連絡会の規約について ・連絡会設立総会について 2 北上市社会福祉法人連絡会設立総会 ① 期 日：3 年 2 月 12 日（金） ② 会 場：さくらホール 小ホール ③ 参加者：市内社会福祉法人 15 法人、27 名 ④ 内 容： ・連絡会役員の選任について ・連絡会事業計画（案）について ・連絡会収支予算（案）について	多様化及び複雑化する地域課題や社会福祉に関するニーズに対応するため、各法人の取組みや専門性を活かしながら、法人間の連携や協働体制の強化を図り、地域における公益的な取組みを実施し、市民の福祉向上や地域福祉を更に推進することを目的に北上市社会福祉法人連絡会を設立しました。北上市内に事業所を有する全ての社会福祉法人（17 法人）に参画いただきました。 なお、令和 2 年 3 月に設立総会を開催することとし準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため開催を延期していたものです。

(5) 社会福祉協議会会費の納入状況

内容及び実績	成果や課題等
① 一般会費：16,032,100 円（詳細は P51 参照） ② 賛助会費：608,000 円（304 件） ③ 団体会費：93,000 円（29 件） ④ 特別会費：1,540,000 円（148 件） 合計 18,273,100 円	市民、福祉団体、企業等に会費の協力をいただくことにより地域福祉活動に参加していただいています。 当会費は地域福祉向上を図るための貴重な財源であることから、引き続き会費の必要性を理解し協力していただけるよう啓蒙活動を行うとともに、具体的な事業活動及び福祉サービスを通じて、当協議会の認知度を高め、会員の拡大に努めます。

(6) 福祉基金の有効活用

① 福祉基金運営委員会の開催状況

開催期日及び出席者数
2 年 7 月 27 日（月） 出席者 8 名

② 福祉基金等の寄付及び助成実績

内容及び実績	成果や課題等
・福祉基金 寄付件数：0 件 ・一般活動 寄付件数：27 件 寄付金額：830,634 円（現金 710,583 円） （物品 120,051 円） ※詳細は P50 参照	広く寄付を募り、頂戴した寄付金は学習支援事業や地域まるまる食堂に係る運営費など地域福祉活動に役立てています。 また、物品は当協議会事業等に活用し、福祉の増進に役立てています。

助成先（団体名）	助成内容	助成金交付決定額（円）	助成額（円）
北上市老人クラブ連合会	健康及び仲間づくり推進事業	50,000	50,000
北上市ボランティア連絡協議会	サークル交流研修会	43,000	0
北上市母子寡婦福祉協会	会員等管弦楽鑑賞事業	15,000	15,000
北上市手をつなぐ育成会	障がい者健康増進事業	20,000	10,000
岩手県聴覚障害者協会北上支部	聴覚障がい者社会参加促進事業	30,000	13,000
ボランティアサークルつばさ	歌のつばさ福祉施設等の慰問事業	10,000	10,000
きたかみ子育てネット	パパと一緒にプログラミング・リターンズ事業	40,000	40,000
傾聴ボランティアきたかみ	フォローアップ講座事業	50,000	0
合計（助成交付決定 8 団体、助成 6 団体）		258,000	138,000

※新型コロナウイルス感染症対策等に伴い、事業中止 2 団体、事業変更（減額）2 団体

③ 福祉基金積立額等（単位：円）

	31年度末 現在高	2年度 積立額	2年度末 現在高	2年度 利金額	備考
一般福祉基金	184,960,934	0	184,960,934	2,946,081	
地域福祉基金	75,481,309	0	75,481,309	1,017,585	うち福祉団体に 138,000 円を助成
合計	260,442,243	0	260,442,243	3,963,666	

(7) 赤い羽根共同募金運動の実績 ※詳細はP52参照

① 一般募金の実績（単位：円）

目標額	12,451,000
実績額	11,177,286
達成率	89.8%

実績額内訳

戸別募金	7,933,296
法人募金	1,754,172
街頭募金	283,161
学校募金	452,408
職域募金	433,172
その他	321,077

② 歳末たすけあい募金の実績（単位：円）

目標額	3,329,000
実績額	3,238,321
達成率	97.3%

実績額内訳

戸別募金	2,286,591
法人募金	371,020
その他	580,710

③ 歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分実績（単位：円）

区分	配分件数(件)	配分金額
ねたきり高齢者がいる世帯	5	30,000
重度心身障がい者(児)がいる世帯	91	546,000
支援を必要とする世帯	179	1,074,000
合計	275	1,650,000